



1. 新校長からの挨拶

この1年間 I B マネージャー・副校長として、国際バカロレアプログラムを学園に導入する準備を進めてまいりましたが、二学期より校長に就任いたしました。

私は日本にあるインターナショナルスクールで25年間、英語を母語としない生徒たちに英語を教え、また、学校が I B を導入した時には、日本語を母語としない生徒たちに日本語も教えていました。その後、I B 教育を英語で行っている日本の学校の教員研修や大学で英語を教えることにも5年ほど関わりました。

I B 教育との出会いは、2006年、勤務校のインターナショナルスクールが導入を決めた時となります。当時は英語、フランス語、スペイン語のみでの学習しかできず、生徒の成長ぶりを見て、このような国際的な教育を日本の生徒たちにも体験して欲しいと願ったことを覚えています。2013年ごろに文科省と I B 機構の合意のもと、デュアルランゲージ・ディプロマプログラム

(DLDP)、6科目中4科目を日本語で履修できるという画期的なプログラムの開発が進められ、現在では、日本でもすでに30校以上の学校がこのプログラムを提供しています。この I B 資格は、世界の多くの大学の受験資格として非常に高い評価を受けていて、日本語で受けた点数も英語で受けた結果と同じ扱いとなり、素晴らしい生徒たちを世界に送り出しています。

DLDP が日本で始まり、私自身、以前から I B 教育に関わっていたことで、教員研修をしたり、教育委員会や導入を考えている学校のサポートをしたり、I B 機構の職員としての仕事もしてきました。そんな中、帝京ロンドン学園が I B プログラムを導入したいという相談を受け、お手伝いをする中で、ご縁があり今に至っています。現在は、候補校として準備を進めていますが、認可されると、在外教育施設として日本外で初めて I B 教育を導入する学校となり、文科省も I B 機構も大きな期待をかけています。残念ながら I B のプログラム導入には在校生の皆さんには、間に合わないのですが、I B が謳っている学習者中心の探究的な指導・学習を目指し、生徒一人一人のみなさんが、安心して楽しい毎日が送れるような生活環境・学習環境を提供できるよう努めたいと思っています。

秋は「実りの秋」や「収穫の秋」と言われます。植物が春に芽を出し、夏に栄養をたっぷり貯めて、秋に実るように、みなさんの2学期が実り多いものであるように願い、一人一人の大いなる成長を期待しています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



校長 ネルソン 文子

2. 新教頭からの挨拶



はじめまして、教頭の内田 勝（うちだ まさる）と申します。私は8月まで岐阜県にある帝京大学可児高等学校中学校で20年数年、そのうち2年数ヶ月は教頭として勤め、9月よりロンドン学園に教頭として赴任することになりました。専門教科は数学です。この自然豊かで広大な敷地と歴史的な価値のある建物を有するロンドン学園で、グローバルな教育に携われることをうれしく思います。本学園での多くの体験を通して、様々な刺激を受け、それぞれの分野で活躍できる礎を本学園で築き上げてほしいと真に願っています。そのために生徒・保護者・学校が三位一体となって、生徒自身の成長を促していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 2学期始業式

9月5日（月）に2学期始業式が行われました。

【始業式で表彰】

英語検定、漢字検定の合格の表彰がありました。



4. 進路講演会

9月12日、株式会社 DISCO グローバル事業部の山崎真司様をオンラインでお迎えして、進路講演会を実施いたしました。海外での経験を強みに、企業での出会いを目指す学生たちの就職を世界各地で支援している視点から、英国〔海外〕で生活する意義や企業〔社会〕から期待されていることなどについてお話いただきました。私自身は、海外で生活すること、とりわけ10代の生徒たちにとって、それがいかに困難を伴うものなのかを改めて認識させられたとともに、この困難を楽しむことの大切さも教えていただきました。

以下は、参加した生徒たちからの振り返りの一部です。

- ・グローバルな人材に求められているのは、異文化体験と語学力だけではない
- ・企業は、海外にいる日本人学生にバイタリティーを強く求めている
- ・問題解決能力を高めるために、失敗を重ね、そしてそれを克服していきたい
- ・企業が今の学生に求めているスキルを、高校生のうちに聞いて良かった
- ・せっかく英国に滞在することができているので、もっと英国のことを学びたい
- ・ただ英国に「居る」だけでなく、いろいろなことにチャレンジしてみたい
- ・コロナ禍で、学生の情報収集能力の格差が生まれることとなった
- ・進路と言っても大学入試だけでなく、その先の未来も含まれることに気づかされた



進路講演会の様子

5. ロンドン日本人学校とのスポーツ交流会

2学期に入り最初の週末の行事として、毎年恒例ロンドン日本人学校との部活動交流会を行いました。バスケットボール、サッカー、テニスの競技に分かれ、競技を通して中学生と交流しました。イギリスという地で日本人の生徒同士が交流を持てたこと、そして日々の部活動の成果がこのような形で出せたことは、とてもよかったです。

ロンドン日本人学校の生徒からは、「〇〇センパイかっこいい！帝京ロンドンに入学したい！」など嬉しい言葉も聞かれ、充実した時間を過ごすことができました。



6. 2学期の水曜コース

2学期の前半は野外活動の企画と運営を行っています。2つのグループに分かれ、テーマをそれぞれ決め、近隣の施設を調べたり、校外学習に必要な書類を英語で作成したりしています。

9月14日(水)には「ドキドキハラハラアドベンチャー企画」が実施されました。Marlowという町にある Longridge Activity Centre で Crate Stack と Climbing を体験しました。



修学旅行・OUTING簿 Date: 7/7

7/2022
 () 修学旅行(Outing) Trip (✓) Outing Please tick the relevant purpose.
 目的 (目的欄) 修学旅行(修学旅行) 修学旅行以外(修学旅行以外) 修学旅行以外(修学旅行以外)
 Destination (country, also name in detail if within the UK, please also specify details)
 Longridge Activity Centre, Quarry Wood Road,
 Marlow, Buckinghamshire SL7 4RF

日程 (日程) 修学旅行(修学旅行) 修学旅行以外(修学旅行以外)
 Start & End Date (including departure/return date)
 13:30 Leave (school/area)
 13:50 arrive (school/area)
 14:00 End
 15:00 Collection
 15:00 School

目的 (目的) 修学旅行(修学旅行) 修学旅行以外(修学旅行以外)
 Purpose (Reason for visit, please tick the specific details)
 Playing with friends
 Wednesday course activity

参加者(参加者) 修学旅行(修学旅行) 修学旅行以外(修学旅行以外)
 Local numbers and names of students and staff
 13 students, 2 teachers.

修学旅行(修学旅行) 修学旅行以外(修学旅行以外)
 Approx. a name and cost for each student.
 £13.40 per a student.



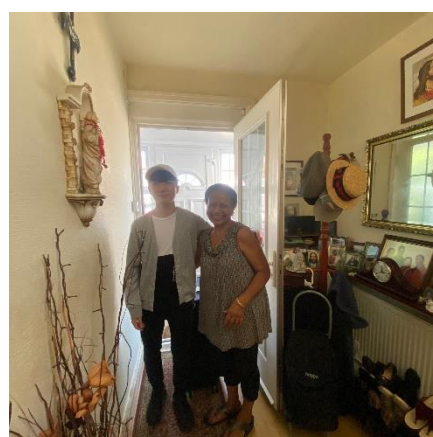
7. 夏休み中の研修

KO2

I had a valuable experience through communication with people of many nationalities at the language school. Also, my host family welcomed me very kindly. I had a very enjoyable summer holiday both in the language school and with my homestay family!

The first photo is from a visit to the London Natural History Museum with a classmate. He was very interested when I told him about the earthquake in Japan. The second photo is my host mother at my homestay house. My host family welcomed me very warmly. They liked Japanese anime and games and we talked a lot about Japan when we ate together.

It was only a month, but I learnt a lot and had a lot of fun!



K02

I went to summer school in Birmingham for 2 weeks because I wanted to improve my English. It was a boarding school and I've never stayed in a dormitory before; therefore, I was nervous. But, actually, I didn't have to be because everyone was kind.

At the school there were lots of students from many different countries like Portugal, Latvia, Bulgaria, Germany, etc., and I could make lots of friends there. I became especially close with my roommate, Sophia. We chatted a lot about how different our cultures are.

This is a picture of us wearing facial hair!! Because it was the last day of this project, we took this picture not to forget each other and the memories. After taking it, I felt so sad and I couldn't stop crying since it's too difficult to meet them again. But one day, I really want to hang out with them in each other's countries!!

Going to the summer school and making lots of international friends has really helped me to become more confident in English.



K01

夏休みに、語学研修に参加しました。始めは周りにアジア人すら居なく、初めての環境下で馴染めるかどうか不安が頭をよぎりました。しかし日が進むにつれ、外国人の友達と少しばかり心を打ち解け合うことができるようになりました。新しい単語や熟語を使い、相手と話すことができるようになるのは、非常に面白いことでした。最初は難しいことも少しずつできるようになっていくのだと、今回の語学研修で感じました。しかし、まだまだ英語の基礎の基の字も理解できていないような気がします。この先、もっと英語に慣れるために、精進していく所存です。滞在先の寮の環境もよく、他の国の人と共同生活で楽しく会話ができるのが良かったです。しかし、上の階の人たちが夜まで騒いでいて、良い眠りが取れませんでした。

8. エリザベス女王追悼

エリザベス女王が9月8日にお亡くなりになりました。70年の長きに渡りイギリス国民に愛されてきた女王を悼み、帝京ロンドン学園では9日正午にマナーハウスの鐘を鳴らし、全校生徒と職員で黙とうを捧げました。



9. IB コーナー

本学園は、現在、IB(インターナショナルバカロレア)の候補校として、学習内容の充実や学習環境整備の他、水曜コースの授業での生徒自らが計画・立案・実施・振り返りをするという一連の学びを取り入れたり、男子寮ラウンジを理科実験室として改修したりしています。

また、生徒会役員と協働し、IBが示す10の学習者像を目指す取り組みを進めています。その一つとして、今月より5か月に渡り、毎月2つの学習者像に向けた取り組みや挑戦を推奨しているところです。学園通信にも、担当となる生徒会役員が学習者像や学園での取り組みについて説明をしています。

9月の目標：「心を開く人」「コミュニケーションができる人」

「心を開く人」とは、自分のこと、他の人のことを正しく受け止め、多様な視点で物事の価値を見だし、成長していける人のことを指します。また、「コミュニケーションができる人」とは、日本語だけでなく、他の言語でも自信をもって自分を表現し、他の人のものの見方に耳を傾け、協力し合える人のことを指します。

私はこれまでの自分を振り返ってみて、多様な視点で物事の価値を見出すというのは、普段の生活で意識してやっていることではありませんでした。学園ではあまり話したことのない子と話したり、英語で自信をもって話しかけたりしていないことに気づきました。これから生徒会でこのような取り組みを学校全体に働きかけることで、毎月の目標となる学習者像に近づいていきたいと思えます。(生徒会長)

10. 各コースより

・サッカーコース

夏休み期間はイギリスもシーズンオフのためホリデーに行く選手が多い中、本校生徒はイタリアのセミアチームの練習に参加した選手や日本でジムに通う選手など意識高く夏季休暇を過ごしていました。

2学期に入りシーズンが再開すると、プロと同じようにまずはフィットネスを戻す(高める)ため、ハードなトレーニングに日々取り組んでいます。1年生も少しずつ英語に慣れてきており、トレーニング中に選手同士が英語で話している姿が見られるようになってきました。

イギリスというサッカー文化の国に来ているので、もっともこの地(イギリス)でしか経験できないことをたくさん経験してほしいと思っています。



10月9日（日）、10日（祝）に帝京大可児高校にご協力いただき、TEIKYO けやきフィールドに FAB コーチを招いて、本学園サッカーコースの紹介を兼ねてイギリス式サッカークリニックを開催することになりました。当日は FAB Academy の Director である Nas 氏（UEFA Pro License）が担当します。



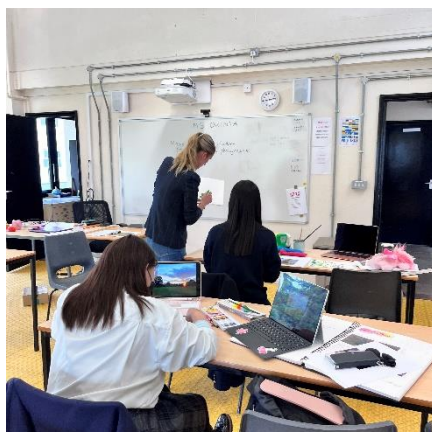
・アートコース

夏休みが終わり、夏休み中はどこに行き何を見たか、どんな景色の写真を撮ったか、どの美術館が良かったかなど、楽しそうに話を聞かせてくれました。

2 学期は、高 3 生は IGCSE の試験に向けて準備します。高 1 生は新しい課題に取り組みます。また、高 1 生、高 3 生ともに、緑舎祭に展示する作品の仕上げ作業も同時進行で進めています。高 3 生は、1 学期から個別課題で取り組んでいた立体作品やフォトブック制作が完成しました。緑舎祭で展示しますので、是非ご鑑賞ください。



木曜日の授業担当者が ORINTA 先生に替わりました！ 一人一人にとても丁寧に、ゆっくり説明してくれています！



1 1. 寮便り

約 8 週間に及ぶ長い夏休みが終わり、9 月 2 日に寮が開かれ寮生が戻ってきました。皆さんの元気な顔を見て、安心しました。2 学期は行事も多く、長い学期です。学園の COVID 安全ガイドラインをしっかり守った上で、休日の外出など学園内外で英国文化に触れ、楽しんでほしいと思います。

1 2. 保健室より

長い夏休みが終わり、それぞれの楽しかった思い出を嬉しく聞かせてもらっています。2 学期は行事も多く、忙しい学期となりますが、何より体が資本になりますので、体調管理に気を配りながら過ごしてもらえよう、引き続き保健室のスタッフでサポートをしていきたいと思ひます。今学期もどうぞよろしくお願ひいたします。

1 3. 秋の研修旅行について

10 月 24 日（月）から 28 日（金）までの 4 泊 5 日の日程で、イタリア（ピサ、フィレンツェ、ローマ）に研修旅行に行きます。今回の研修テーマは「古代ローマ」と「ルネッサンス」です。世界史や European Studies の授業を通して、歴史や文化などを学び、個々の研究課題の内容を深める探求学習を予定しています。学園としては久しぶりの海外研修旅行ですので、さまざまな事前学習を十分に行い、充実した研修となるよう努めてまいります。

主な見学場所：

ピサの斜塔、ウフィッツ美術館、サンタ・マリア・デル・フィオーレ教会（ドゥオーモ）、シニョリア広場、ヴェッキオ橋、ミケランジェロの丘、パチカン市国（システーナ礼拝堂、サン・ピエトロ大聖堂）、コロッセオ、コンスタンティヌス帝の凱旋門、フォロ・ロマーノ、パンテオン、サンタ・マリア・デル・コスメディン教会（真実の口）、トレビの泉、ナヴォーナ広場

1 4. IELTS について

学園では、11 月 19 日（土）ロンドン会場で実施される IELTS テストの受験を希望する生徒に対し、受験申込サポートと当日ロンドン・学園間の往復バス（寮生のみ）のアレンジをします。受験料は £ 190（各自負担）で、受験申込締め切りは 10 月 3 日（月）です。なおこの件に関して、生徒の皆さんへは既に告知済みです。

1 5. 冬季休暇中のホームステイ及び語学学校通学について

冬季休暇中にホームステイ及び語学学校での研修を予定している生徒は、担任または英語科の教員まで、できるだけ早くお知らせください。

***** 今月の一枚 *****



黙とう

編集後記

季節が目まぐるしく移り替わっていく9月のイギリス。学園キャンパス内にオークやカエデ、マロニエの実がたくさん落ち、リスがどんどん太っていくのを観察しながら、秋を満喫しております。（山下）

帝京ロンドン学園の Instagram はコチラ! ▶▶▶

